

太子堂地区防災計画

[平成29年作成]

太子堂地区

【太子堂地区防災計画作成団体】

太子堂地区防災塾参加団体

(順不同)

遊びとまち研究会	あんしんすこやかセンター
三軒茶屋銀座商店街振興組合	昭和女子大学
青少年太子堂地区委員会	せたがや災害ボランティアセンター
世田谷消防団第2分団	世田谷ボランティア協会
太子堂一丁目町会	太子堂五丁目町会
太子堂三軒茶屋町会	太子堂下の谷町会
太子堂小学校	太子堂地区ごみ減量リサイクル推進委員会
太子堂地区社会福祉協議会	太子堂地区身近なまちづくり推進協議会
太子堂地区連合町会	太子堂中学校
太子堂2丁目大塚町会	太子堂2、3丁目地区まちづくり協議会
太子堂保育園	太子堂本町会
太子堂ミニコミ紙編集委員会	太子堂4丁目地区まちづくり協議会
太子堂4丁目西山町会	太子堂ワークショップ
中里小学校	なごみ保育園
日赤奉仕団太子堂分団	三宿小学校
民生委員・児童委員協議会	わんぱくクラブ三軒茶屋

目 次

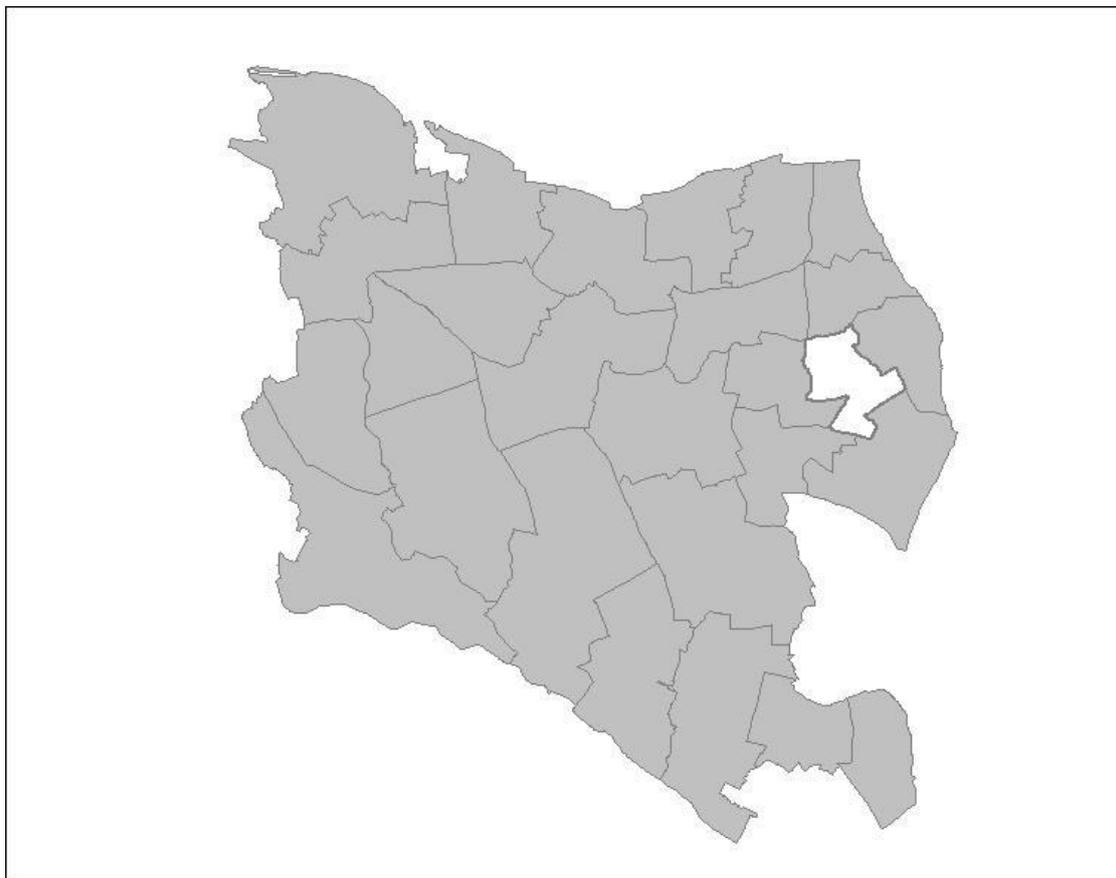
1. 太子堂地区の特性	
(1) 面積、位置	1
(2) 社会特性（人口等）	2
(3) 被害想定	4
(4) 防災資源	6
2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～ 集計表	7
3. 地区における課題と今後の取り組み	
(1) 初期消火	15
(2) 住民の安否確認	15
(3) 避難行動要支援者対策	16
(4) 負傷者等の救出・救護	16
(5) 物資（水や食料、燃料等）の調達	16
(6) 避難所の開設	17
(7) 風向き、他地区からの延焼	17
(8) 被害状況の確認、見廻り	17

1. 太子堂地区の特性

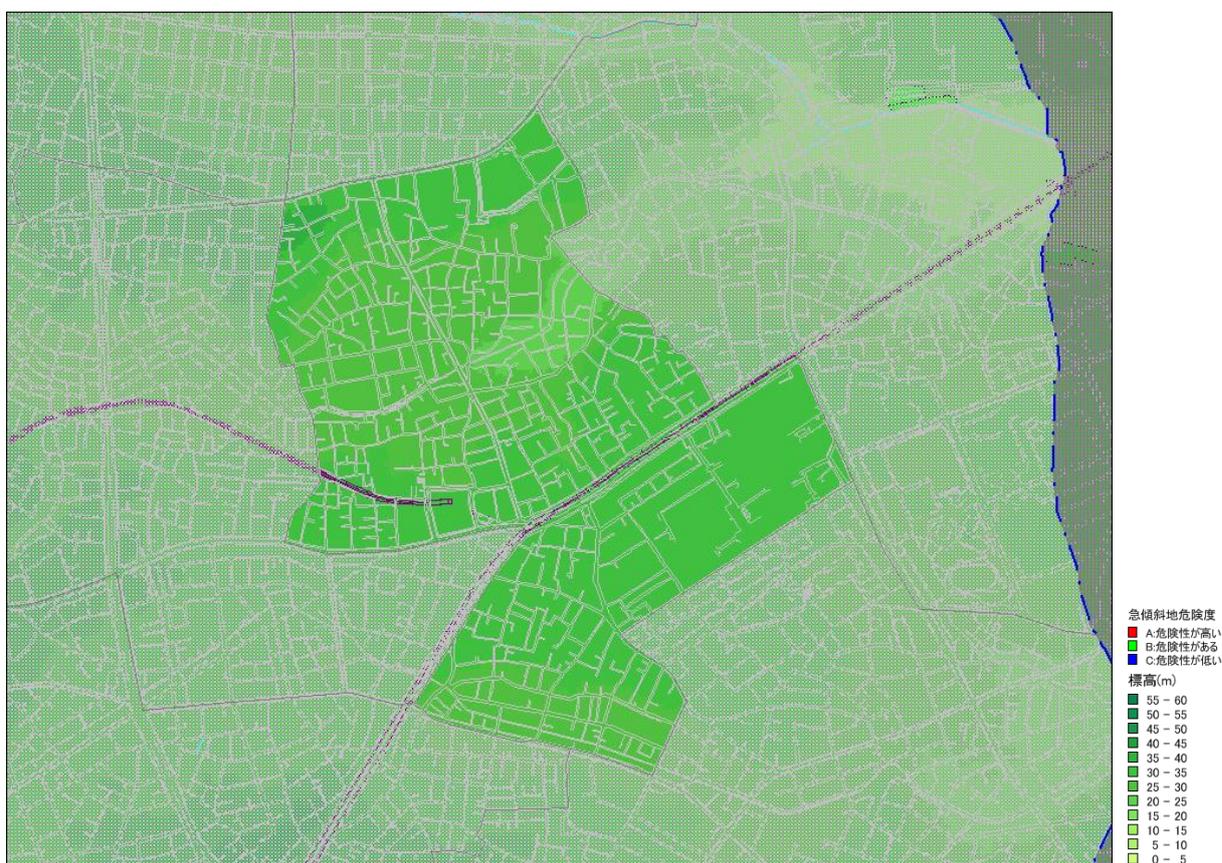
(1) 自然特性

面積	1.05	Km ²
----	------	-----------------

位置



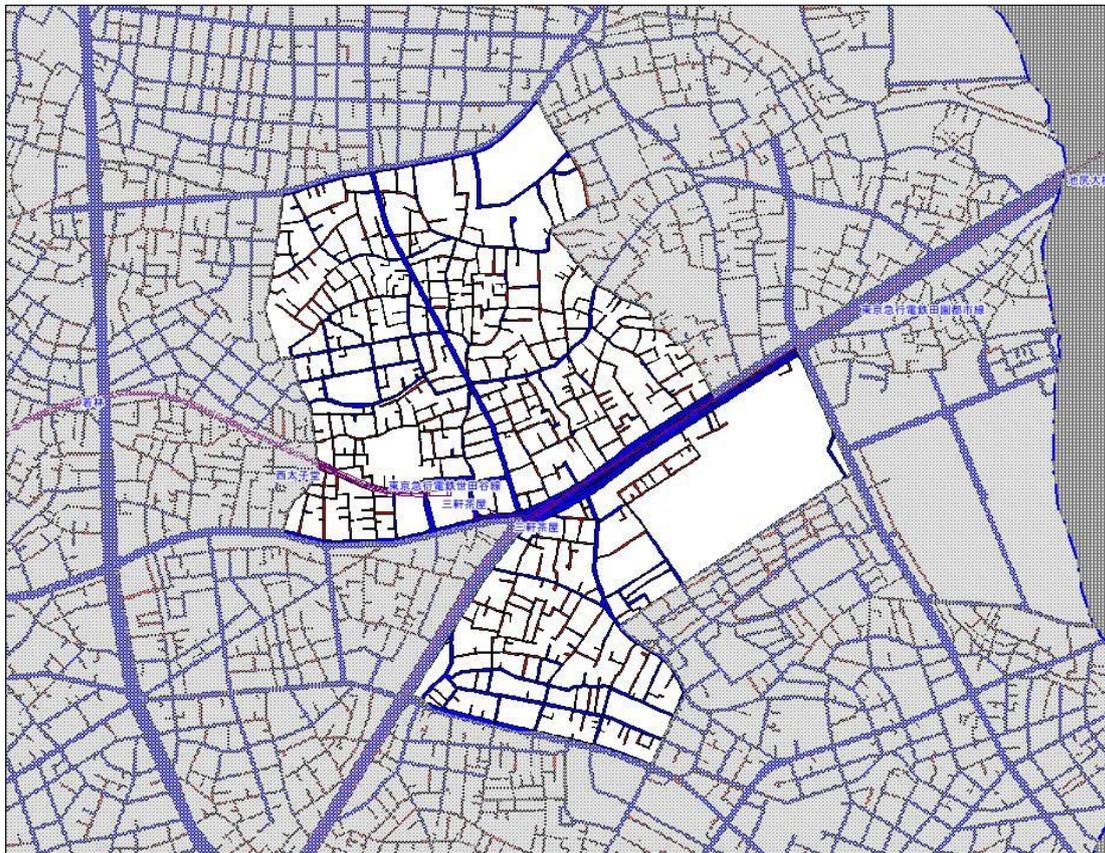
標高・急傾斜地



(2) 社会特性

人口	23,403 人	細街路率	55.1 %	
世帯数	14,741 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	191.8 棟/Km ²	
1世帯あたり	1.59 人	耐火率	82.5 %	
若年層数(15才未満)	2,071 人	土地利用(宅地)	77.0 %	
若年層率(15才未満)	8.8 %	土地利用(宅地以外)	23.0 %	
高齢者数(65才以上)	4,086 人	鉄道駅	東急田園都市線三軒茶屋駅 東急世田谷線三軒茶屋駅 西太子堂駅	
高齢者率(65才以上)	17.5 %			
昼間の人口	41,100 人	産業	商業	91.7 %
夜間の人口	23,517 人		工業	8.3 %
昼夜間人口比	1.75 -		農業	0.0 %

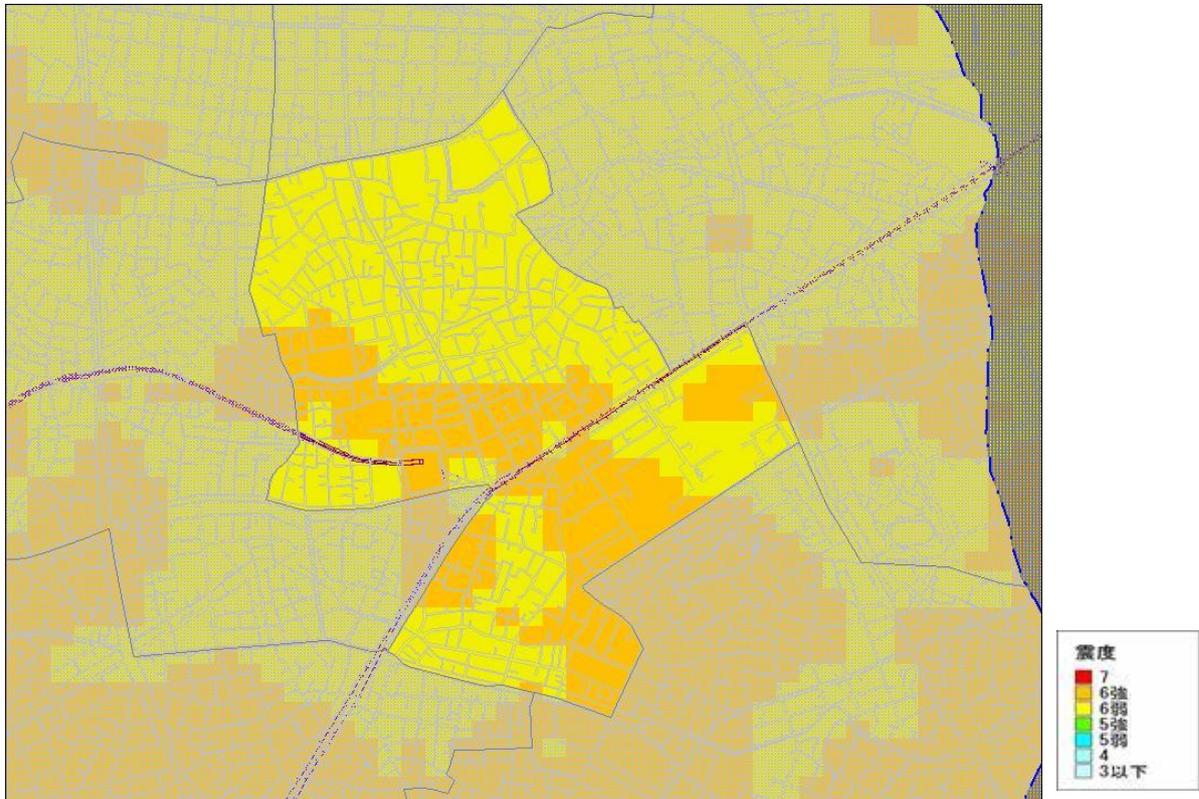
道路・公共交通機関



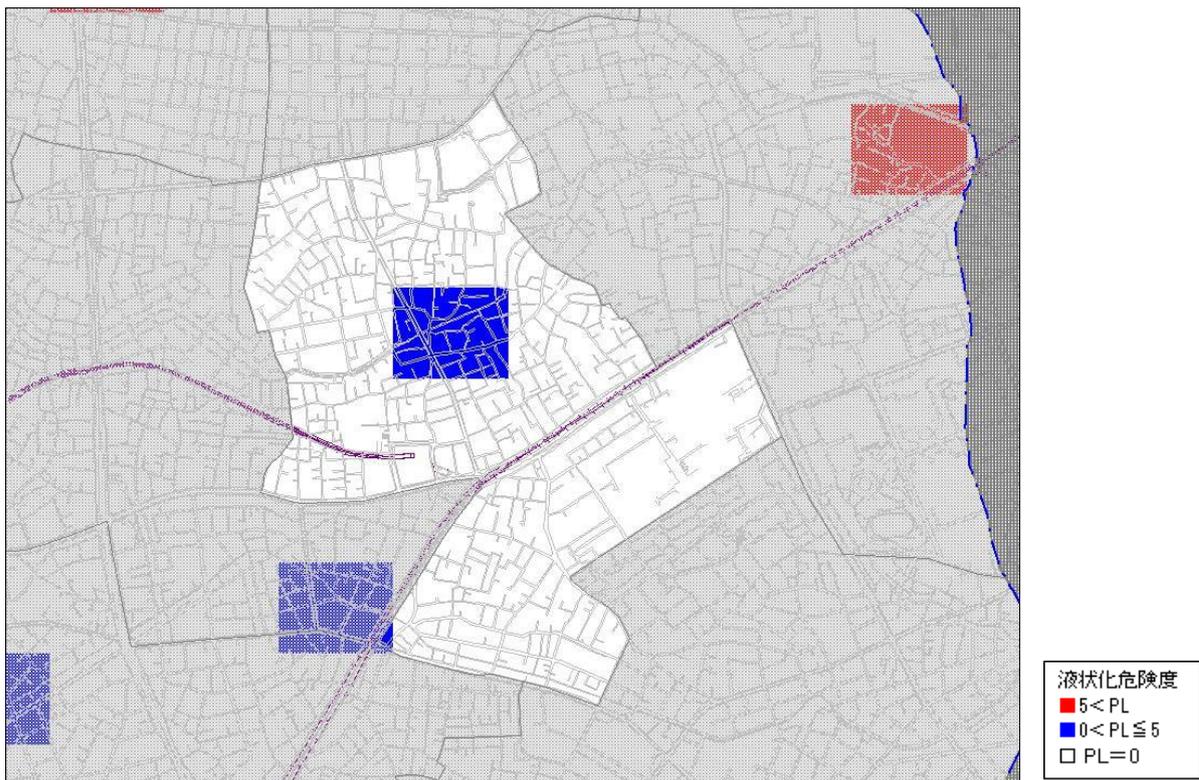
(3) 被害想定

全壊棟数	108 棟	死者	13 人
半壊棟数	423 棟	負傷者	145 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	351 棟	うち重傷者	27 人

震度分布

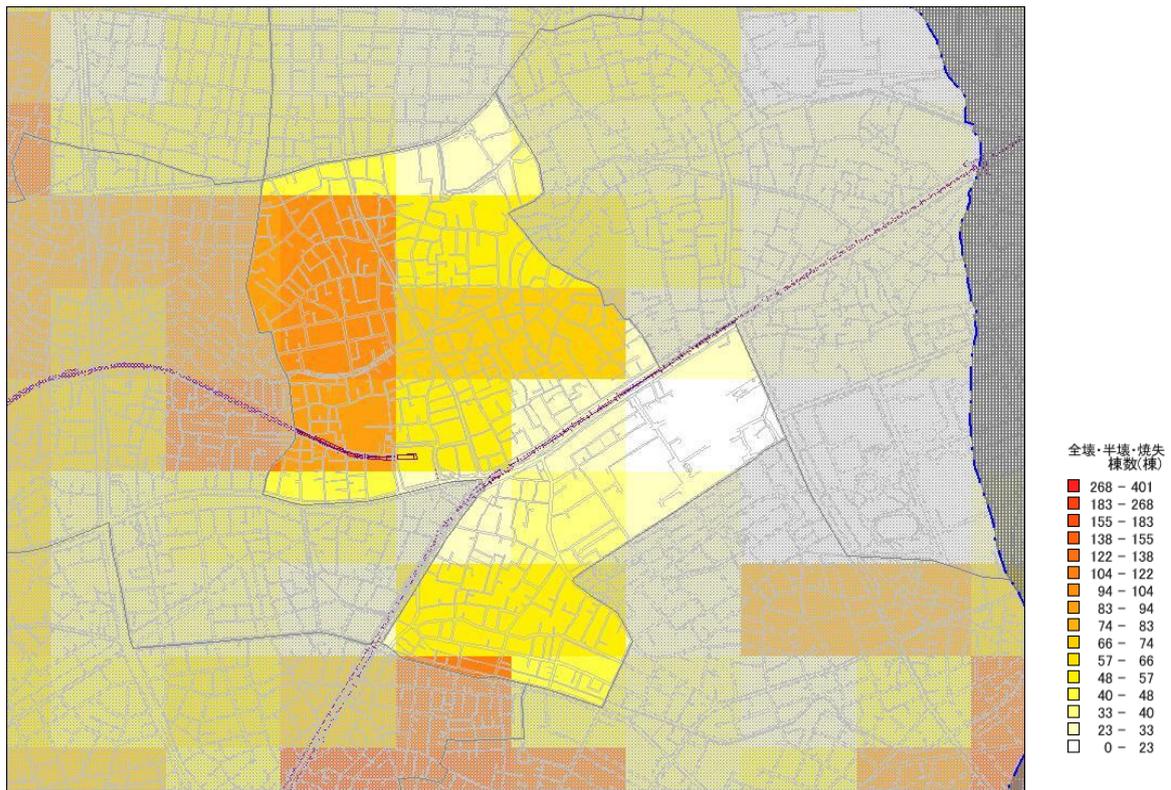


液状化分布



(3) 被害想定

被害棟数分布

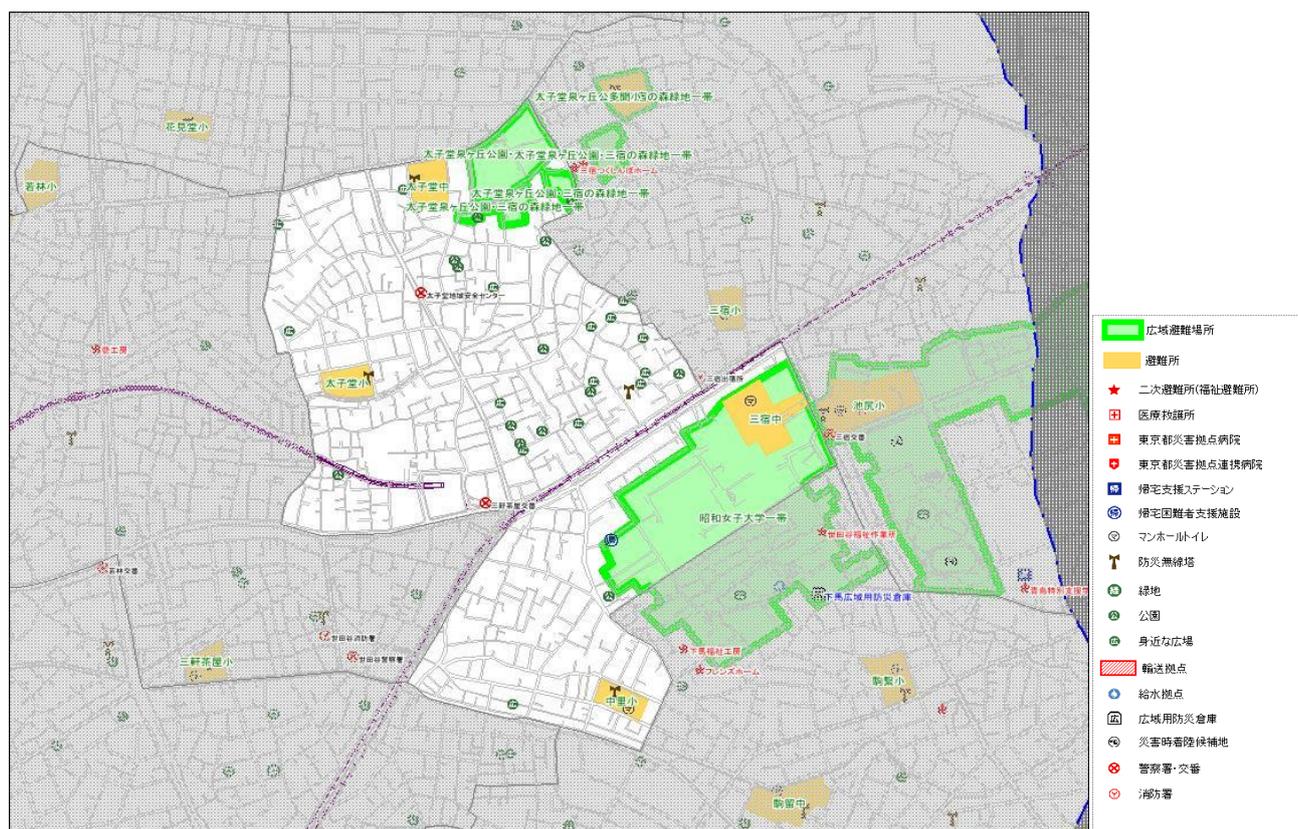


首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表
世田谷区防災マップデータ 平成26年5月26日現在
マンホールトイレ設置場所 平成28年3月31日現在

(4) 防災資源

広域避難場所	太子堂泉ヶ丘公園・三宿の森緑地一帯 昭和女子大学一帯			
指定避難所	太子堂小 太子堂中 三宿中 中里小			
福祉避難所				
医療救護所				
東京都災害拠点病院				
東京都災害拠点連携病院				
帰宅支援ステーション			帰宅困難者支援施設	1 ヶ所
マンホールトイレ	3 ヶ所	防災無線塔	4 ヶ所	緑地
輸送拠点				
給水拠点				
広域用防災倉庫				
警察署・交番	太子堂地域安全センター 三軒茶屋交番			
消防署				

防災資源



団体名	防災担当者数	防災に関する会議				防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備					
		実施している	実施していない	会議名	実施回数 (年間)	実施している	実施していない	スタンドパイプ		D型ポンプ		消火器	
								数量	場所	数量	場所	数量	場所
太子堂1丁目町会	10	○		防火防災部会	12	○	○	2	太子堂1-8塀	1	太子堂1丁目公園倉庫	20	町会内
太子堂二丁目大塚町会	6	○		防火防災部会	12	○	○	2	太子堂2-11遊び場広場	2	すずむし広場倉庫	15	町会内
太子堂三軒茶屋町会	13	○		防火防災部	12	○	○	2	トンボひろば公園倉庫	1	トンボひろば公園倉庫		
太子堂下の谷町会	7	○		防火防災部会	12	○	○	1	山中橋倉庫	1	山中橋倉庫		
太子堂本町会	7	○		防火防災部会	12	○	○	3	円泉ヶ丘公園、太子堂中学校	3	円泉ヶ丘公園、太子堂中学校		
太子堂四丁目西山町会	10	○		防火防災部会	12	○	○	3	西太子堂公園倉庫	2	西太子堂公園		
太子堂五丁目町会	25	○		防火・防災部会	12	○	○	1	5丁目町会クラブ倉庫	2	烏山川緑道防災倉庫		

団体名	その他		防災訓練等の実施							
			実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他	
	名称	場所			回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所
太子堂1丁目町会			○		2	太子堂1-9駐車場、 三宿中学校				
太子堂二丁目大塚町会			○		1	太子堂2-11遊び場				
太子堂三軒茶屋町会			○		1	西太子堂公園				
太子堂下の谷町会			○		2	ひょうたん池、太子堂中学校				
太子堂本町会			○		2	円泉ヶ丘公園、太子堂中学校				
太子堂四丁目西山町会			○		1	西太子堂公園				
太子堂五丁目町会			○		1	太子堂八幡広場				

団体名	防災マップ											
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							その他
					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓	

太子堂1丁目町会				○										
太子堂二丁目大塚町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○	AED	
太子堂三軒茶屋町会				○										
太子堂下の谷町会				○										
太子堂本町会	○				○	○	○	○	○	○	○	○		
太子堂四丁目西山町会				○										
太子堂五丁目町会				○										

団体名	防災士等の数						災害時連携・協定 (区を除く)		避難行動要支援者協定			
	防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	締結している	検討中である	予定はない
太子堂1丁目町会	2	0					○					○
太子堂二丁目大塚町会	1	0					○					○
太子堂三軒茶屋町会	0	1					○					○
太子堂下の谷町会	0	2		○			下の谷睦会					○
太子堂本町会	0	1					○					○
太子堂四丁目西山町会	1	1					○					○
太子堂五丁目町会	1	1					○					○

団体名	避難行動要支援者対策				連絡手段の確保				防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)			
	日頃からの見守り活動	要配慮者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
太子堂1丁目町会				○			特になし		○			
太子堂二丁目大塚町会	○				○	○					○	
太子堂三軒茶屋町会	○					○					○	
太子堂下の谷町会	○	○				○					○	
太子堂本町会	○	○				○					○	
太子堂四丁目西山町会	○					○					○	
太子堂五丁目町会				○		○					○	

団体名	救出救助に係る資機材の配備															その他	保管場所
	配備していない	配備している	リアカー	はしご	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー		
太子堂1丁目町会	○		1		1	2	10		1	3		1	1	1		台車外	太子堂一丁目公園防災倉庫
太子堂二丁目大塚町会	○	2	1	1	2	1	10	1									太子堂2-11遊び場倉庫
太子堂三軒茶屋町会	○	1				3	1	10	1								トンボひろば公園倉庫
太子堂下の谷町会	○	1	1	1	2	1	15	1									山中橋倉庫
太子堂本町会	○	3		1	2	1	15	1									円泉ヶ丘公園、さくら広場
太子堂四丁目西山町会	○	1		1		1	10	1									西太子堂公園倉庫
太子堂五丁目町会	○	1		2	2	1	10	1	2	4	2			1			5丁目町会クラブ倉庫

団体名	食糧等の備蓄															
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク	その他	保管場所

太子堂1丁目町会 ○

太子堂二丁目大塚町会 ○

太子堂三軒茶屋町会 ○

太子堂下の谷町会 ○

太子堂本町会 ○

太子堂四丁目西山町会 ○

太子堂五丁目町会 ○

団体名	その他の防災活動
-----	----------

太子堂1丁目町会

太子堂二丁目大塚町会

太子堂三軒茶屋町会

太子堂下の谷町会

太子堂本町会

太子堂四丁目西山町会

太子堂五丁目町会

3. 太子堂地区の課題と今後の取り組み

課題1 初期消火

■意見

- ・消火器やスタンドパイプが十分に配備されていない。
- ・消火栓や防災井戸の場所が周知されていない。
- ・消火栓の蓋が重く、ホースが短い。
- ・道路にある消火栓より、住宅地内にある消火栓の方が使える。
- ・防火水槽や貯水槽が少ない。
- ・小規模マンションや古い家の状況が不明である。
- ・防災訓練の参加者が少ない。
- ・平日の夕方在宅している人が少ない。
- ・安否確認しなければならない一人暮らしの高齢者が多い。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①消火器、バケツ、消火砂等を各家庭で配備する。
- ②日時、時間等に配慮し、中学生等が参加しやすい防災訓練を実施する。
- ③防災訓練がマンネリ化しないように努め、新しい人も参加しやすい態勢をつくる。
- ④防火水槽や貯水槽の必要性を検討する。
- ⑤地域の小中学校、大学との連携を強化する。
- ⑥女性消防団の増員に努める。
- ⑦火を出さない家庭教育を行い、防災訓練の参加に繋げる。
- ⑧正しい初期消火の知識を得る。
- ⑨在宅している女性の役割を考えた防災訓練を実施する。

課題2 住民の安否確認

■意見

- ・若い人が少なく、マンパワーが不足している。
- ・首都高速道路・国道を走る車輛の火災で混乱する。
- ・商店や学習塾など町会に加入していない人の情報がわからない。
- ・住民の中には、支援を拒否する人がいる。
- ・住民に高齢者が多く、安否確認の担い手がいない。
- ・安否確認のための連絡手段が少ない。
- ・防災無線放送が聞き取りにくい。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①平時には、日頃より隣近所で、声を掛け合う。
- ②民生委員と協力して安否確認する。
- ③地区内の防災マップを作成し、日頃から備える。
- ④危険箇所も含めて、担当エリアを確認しておく。

⑤災害時の対応を家族や近隣同士で話し合う。

課題3 避難行動要支援者対策

■意見

- ・車椅子やリヤカーなど避難行動要支援者を移動させる手段が少ない。
- ・避難行動要支援者の情報が地域で共有されていない。
- ・避難行動要支援者の収容施設がない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①日頃から避難行動要支援者の状況を把握し、搬送先を確認する。
- ②安否確認カードの普及啓発を図る。

課題4 負傷者等の救出・救護

■意見

- ・帰宅困難者で246号線が混雑する。
- ・太子堂中学校に避難するには坂がきつい。
- ・近隣に病院や救護所がない。
- ・道路が狭く、救急車が入らない。
- ・医療関係者との協力体制が構築されていない。
- ・救出するための道具が少ない。
- ・暗さに対する対策が不足している。
- ・ジャッキ等については、自家用車の物を利用する。
- ・防災物品を置く場所が少ない。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①PTAや親父の会、昭和女子大や日大の学生など若い人の協力を得る。
- ②建設団体防災協議会や工務店など建築関係者と連携する。
- ③ランタン等を各戸に配布する。
- ④大学生など若い人の協力を得る。
- ⑤負傷を避けるため、自宅にヘルメットを備えておく。
- ⑥日頃から商店街と協力する。
- ⑦園児は、保育園で親が迎えに来るまで待機する。

課題5 物資（水や食料、燃料等）の調達

■意見

- ・冬期に暖房の確保が困難である。
- ・保育園等で使用していない毛布を借用する。
- ・備蓄については、PR方法も検討する。
- ・毛布や防寒シートなどは、各自、家庭から持ち込む。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①各自で7日分の食糧等を備蓄するように、回覧等など周知啓発を行う。
- ②地域の井戸水提供の家を周知する。

課題6 避難所の開設

■意見

- ・帰宅困難者も来るので、人数把握が難しい。
- ・できるだけ自宅で待機する。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①町会で日頃からイメージトレーニングする。
- ②防災の専門家と連携して、課題を明確化していく。
- ③避難所運営訓練を継続して実施する。
- ④自宅避難している人数を把握し、避難所で食事等を受け取れる態勢を構築する。

課題7 風向き、他地区からの延焼

■意見

- ・見張りが必要である。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①消防署からの情報把握に努める。
- ②FMせたがやなどから各自が情報を得られるように日頃から周知する。

課題8 被害状況の確認、見廻り

■意見

- ・木造密集地ならではの不安がある。
- ・高齢者が多く、見廻りが難しい。

■地区としての今後の取り組みの方向性

- ①電源ブレーカーを落としてから避難する。
- ②不燃化に向け、助成金等を活用する。
- ③見廻りについてはプライバシーの問題もあるので、慎重に協議する。